

## TMS研自社セミナー 2・3月 開催予定表

	申込締切	ご入金期限	教材発送日	web開催日	セミナータイトル	内容
1	3/5	3/9	3/10	3/16	AIやDXによらない業務効率向上の7ステップ 業務のムリ・ムダ・ムラ解消による 人手不足解決方法	①人手不足問題にどう対処するのか? ②社内から人員を捻出する ③部署業務の現状を「見える化」する ④会議を半減させる ⑤業務のムリ・ムラをなくす ⑥業務のムダを取る ⑦人員はまだまだ捻出できる ⑧人員の流出を防ぐ
2	3/10	3/12	3/13	3/18	業務改革活動成功の秘訣 業務のムリ・ムダ・ムラ 「見える化」による 人手不足解決方法	①間接業務のムリ・ムダ・ムラを「見える化」する ②ムリ・ムダ・ムラを分析する ③対策を立案する ④対策を推進する ⑤情報を共有化する ⑥実施目的別事例紹介(4社)
3	3/12	3/16	3/17	3/23	コスト意識徹底でスタッフの考え方と行動が変わる 会議・活動の削減および 業務の費用対効果検証による 人手不足解決方法	①会議・委員会・改善改革活動の削減方法 ②会議・委員会・改善改革活動事務局の育成方法 ③間接業務の費用対効果検証方法 ④管理職の生産性向上方法 ⑤自律型人財の育成方法
4	3/17	3/19	3/20	3/25	管理職が今すぐ実施すべき3つの業務量平準化 間接業務のムリ・ムラ解消による 人手不足解決方法	①業務のムリ・ムラを放置し続ける恐ろしさ ②業務量平準化の前にすべきこと ③業務量のアンバランスを「見える化」する ④業務量のアンバランスを平準化する
5	3/18	3/23	3/24	3/30	「本来あるべき姿」と「実態」を対照 間接業務のムダ取りによる 人手不足解決方法	①間接業務削減の必要性 ②『真の業務削減』の考え方 ③業務の『あるべき姿』とは? ④間接業務の減らし方 ⑤リバウンド防止策 ⑥『業務目的体系表』の活用方法 ⑦抵抗勢力対策
6	2/26	3/2	3/3	3/9	業務引継ぎ時間を極小化 間接業務の属人化解消方法	①業務属人化問題を放置し続ける恐ろしさ ②属人化解消の前にすべきこと ③業務の属人化を解消する ④業務属人化解消の先にあるもの
7	3/3	3/5	3/6	3/11	メンタル不調者を「社の宝」に再生 メンタル不調からの復帰サポート および再発防止システム構築方法	①講師とその上司の敗者復活事例 ②メンタル不調者の処遇について ③後方支援部隊として実施すべきこと ④メンタル不調者の再生方法 ⑤メンタル不調の再発防止方法 ⑥後方支援部隊活動の意味と価値 ⑦メンタル不調者が起こした奇跡
8	3/20	3/22	3/23	3/27	AI・DXでは出来ない 業務改革による 人手不足解決方法	①業務改革とは? ②業務改革の考え方 ③『業務改革シート』による画期的な業務改革案の立案方法 ④業務改革案の実現手法(通るプレゼン資料作成方法)
9	2/13	2/17	2/18	2/24	『3つの奥義』 失敗事例から学ぶ 業務改革プロジェクト成功方法	①業務改革プロジェクトはなぜ失敗するのか? ②失敗しないプロジェクト推進方法 ③従業員の本音を「見える化」する『従業員アンケート』 ④プロジェクト進捗管理方法 ⑤従業員に「やらされ感」を発生させないボトムアップ活動
10	2/17	2/19	2/20	2/25	「嫌がること」を止め、「喜ぶこと」をする 「働きやすさ」「働きがい」 向上活動による 職場風土快適化方法	①従業員が定着しない理由およびその対策 ②従業員の「悩み・苦しみ・不平不満」を「見える化」する ③従業員の「悩み・不満・困りごと」を解決する『ボトムアップ活動』 ④トップダウン活動とボトムアップ活動 ⑤人財育成システムは御社をどう変えるのか?
11	2/18	2/20	2/24	3/2	日本人特有の「改善魂」が目覚める 「働きがい」最大化活動による 職場風土活性化方法	①職場風土が暗い理由とその活性化方法 ②改善「提案」活動はもう古い!! ③改善「報告」活動の目的および概要 ④改善手法教育 ⑤改善報告活動の活性化 ⑥改善報告活動による会社業績向上方法
12	2/24	2/26	2/27	3/4	「働きやすさ」「働きがい」の殿堂 超ホワイト企業 未来工業(株)の秘密	①未来工業のどこがすごいのか? ②未来工業はなぜすごいのか? ③未来工業を正しく理解するためのポイント ④未来工業から何を学ぶべきか? ⑤あなたの会社を未来工業化する方法 ⑥見どころ解説 ⑦バーチャル工場見学

【注.1】各セミナーの詳細につきましては、TMS研ホームページの⑨TMS研がご提供する教材・セミナーページより、案内チラシをご覧ください。

【注.2】上記の開催日にご受講できない方は別途個別セミナーの開催に応じますので、TMS研までその旨ご連絡ください。